令和5年度 第3回中郷区地域協議会次第

日 時: 令和5年6月27日(火)18時30分~ 場 所: 中郷コミュニティプラザ ホール

- 1 開 会
- 2 報告
- (1) 中郷区におけるビレッジプランの令和 5 年度の取組概要について (事前資料配布 No.1-1、1-2、1-3)
- (2) 地域自治の推進に向けたヒアリング調査について
- 3 協議 自主的審議事項「中郷区型コミュニティバスのあるべき姿」について
- 4 その他
- 5 閉 会
- 6 勉強会(非公開)「子どもの居場所づくり」について

中郷区におけるビレッジプランの取組概要

資料No. 1-1 R5. 6. 27中郷区地域協議会 上越地域振興局農林振興部

飲食店

サンシャイン

中郷IC

3本植②

【10年後(2031年)の地域が目指す姿】

- 中郷区ならではの農林資源を活かした新たな特産品の提供等による地域内外の消費拡大
- 都市と農村の交流拡大と女性の活躍による新規ビジネスの創出と定住促進
- 担い手間連携や中山間直払集落協定の統合等による集落機能の維持と営農の継続

【基幹的農業従事者等の定住目標】

<地域人口>毎年7組の移住世帯を確保

⇒ (30年後) 高齢化率:現在水準の40%程度 人口:現在の60%程度で安定 <農業就業人口>毎年2組(移住世帯の1/4)が就農 ⇒現在の水準維持

〇 地域人口

〇 基幹的農業従事者数

・20代前半男女(2名)

3 組

·20代前半男女1組(2名)

0.6組

・30代子連れ夫婦(3名)

2組

・30代子連れ夫婦1組(3名)

0.6組

・60代定年帰郷夫婦(2名) 2 組 ·60代定住帰郷夫婦1組(2名)

0.6組

【目指す姿に向けた具体的な取組とスケジュール】

〇 重点的に取り組む項目

〇 具体的な取組スケジュール

1 「中郷ブランド」づくり

(農業の仕組みづくり) (取組主体: 未定)

2 都市農村交流の促進

(定住につながる仕組みづくり) (取組主体: 未定)

3 女性の活躍の場創出

(女性の活躍の場づくり) (取組主体: 未定)

4 必要な体制づくりや広域連携

(取組主体: 未定)

重点取組 短期的(1~3年)

1 「中郷ブランド」づ (1)

- ・特産品づくり
- ・ご当地メニュー開発
- ・食材や弁当を学校や 企業に提供
- 2 都市農村交流の促進 ・グリーンツーリズム のビジネス化
 - ワーケーション誘致

3 女性の活躍の場創出

4 必要な体制づくりや

広域連携・条件整備

の開設

・カフェやレストラン

- (農)イベント開催(ネマガリダケを 使った先行的な取組の実施等)
- ○商工会、学生等との連携による 独自性のある商品開発
- (3) 商工、観光業等の販路開拓支援 (行)広報活動支援(イベント開催等)
- (農)ネマガリダケやブルーベリー収 穫体験の提供
- (農)観光業者 (スタジオジャパホ 等)との連携強化
- (コ)お試しステイの受入(二宮町と の交流復活、田舎体験)

(農) 農産物や加工品の提供

中期的(3~5年)

具体的な取組内容

【2031年の地元関係図】

上超市社会福祉協議会

ディサービス

グループ ホーム

お茶飲み会

青年会

社年会

子育て・教育

公民館·体育館

中#保育園

こども会

XC育成会

より小さなコミュニティ と関係の記匿も満動を置しする別様

市全体や市外

コミュニティ・その他

- 農商品開発に係る品目の生産 (ネマガリダケやクルミなど)
- (農)既存の直売所の多角化 (出張販売等)
- (農)鳥獣害駆除
- (行) 空き家情報の拡充と情報発信強化 ・空き家のリフォーム
 - ・さとまる学校との連携
- (行) ワーケーションに必要な建物や 通信環境の整備

二本木駅を拠点としたツアーの企画

(取組の継続)

(取組の継続)

長期的(5~10年)

(農):農業部門

【凡例】

(¬): ¬ : ¬ = ティ部門

(行): 行政関係

【随時実施】

(コ) 二本木駅内カフェとのコラボ企画の展開 (行) 起業希望者への支援

移住による起業者への初期経費支援

【随時実施】

(農)中山間直払集落協定の統合等による広

援体制構築(セーフティネット整備)

(コ) NPO等の組織内に農業部会を新設 し地域マネジメント機能全般を担う (日本型直払事務、特産品開発等)

(行) 市の農政部門と地域振興部門 JA、振興局等で組織する支 援チーム立ち上げ

後継者不在の法人や担い手に対する支

ビレッジプラン上越市中郷区の取組(令和4年度下半期)

- 1 パッケージ用共通デザインの開発とシール、チラシの作成
 - ・中郷区の魅力をアピールでき、イベント、PR活動、交流・移住のきっかけづくり等に活用可能なシール、チラシの原案を中郷小学校協力のもと、小学5年生から作成してもらい、NPO法人中郷区まちづくり振興会、一般社団法人中郷区さとまる学校、中郷商工会など多様な分野の関係者の協力を得ながら、地元デザイナーを活用し作成しました。今後、各種イベント等で活用していきます。





2 首都圏の交流イベント参加による中郷区の P R

・地元観光業者(上越ケーブルビジョン株式会社)等と連携し、令和5年2月25日、26日の2日間、東京都有楽町の東京交通会館で開催された「雪国マルシェ」に中郷区農業の未来を考える会のメンバー4人が参加し、首都圏等の消費者に中郷区の農産物や加工品の販売と合わせ、中郷区の魅力をPRチラシ等で発信しました。



3 ネマガリダケのレシピ集作成開始

・将来的には中郷区内の飲食店やえちごときめき鉄道等への原料や加工品供給につながるよう、「中郷区産米に合うネマガリダケの加工メニュー」をテーマにJAえちご上越女性部と連携しネマガリダケ料理レシピ(未定稿)の作成を開始した。令和5年度は、レシピ内容の充実を図り、レシピ集を完成させる予定です。

「みらい農業づくり会議」開催状況と「将来ビジョン」取組内容の一覧表

1. 開催状況 (参加人数:延べ1.110人, うち女性 123人)

資料 No. 1 - 3 (農村振興課) R5. 6. 27 中郷区地域協議会

1. 用惟朳仇(参	- 加八剱 - 進 、1,110 八、 丿り女性 120 ハ												1(0. 0. 27 1 7A) E. P	3-94 IIII 195 22	<u> </u>
地域自治区名	第1回 (農地と地域の強み・弱み等の整理)	参加。	人数 うち 女性	第2回 (今と将来の取組内容等を整理)	参加人	数 うち 女性	第3回 (取組の優先順位付け等)	参加力	数 うち 女性	グループワーク (テーマ別に具体策を検討)		数 うち 女性	第4回 (将来ビジョンの検討と決定)		数 うち 女性
谷浜・桑取区	令和3年12月14日	34	8	令和 4 年 3 月 29 日	26	8	令和4年6月28日	24	5	テーマ別に2回実施	56	13	令和5年3月29日	28	5
安塚区	令和3年11月25日	32	3	令和4年3月25日	33	3	令和4年7月7日	29	1	_			令和5年3月17日	25	1
浦川原区	令和4年3月14日	30	2	令和4年3月28日	29	1	令和4年7月12日	29	1	令和 5 年 10 月 31 日	23	1	令和5年2月21日	19	1
大島区	令和3年11月30日	37	3	令和 4 年 3 月 24 日	32	2	令和4年7月4日	31	3	_			令和5年3月22日	24	1
牧区	令和3年11月29日	37	7	令和 4 年 3 月 23 日	25	3	令和4年11月9日	24	3	_			令和5年3月27日	19	5
吉川区	令和3年11月19日	34	1	令和 4 年 3 月 23 日	29	1	令和4年7月12日	28	1	令和5年11月17日	37	2	令和5年2月22日	33	_
板倉区	令和3年11月26日	33	5	令和 4 年 3 月 22 日	23	4	令和 4 年 10 月 26 日	22	3	_			令和5年3月22日	17	3
名立区	令和3年8月20日	38	8	令和3年12月21日	31	2	令和 4 年 6 月 22 日	26	4	テーマ別に2回実施 (組織育成Gは4回)	85	7	令和 5 年 4 月 12 日	28	2
		275	37		228	24		213	21		201	23		193	18

2.「将来ビジョン」取組内容

地域自治区名	【キャッチフレーズ】 ありたい姿	担い手・後継者の確保	農業生産維持に向けた作物選定 ・所得確保	農業機械・スマート農機の共有化 ・共同利用	土地利用の明確化・農地条件の改善	事務局的役割を担う 「活動のエンジンとなる組織」
谷浜・桑取区	谷浜・桑取区らしさである海から山まで の地域資源を活かし、地域内外との交流 により、桑谷ファンを増やします!!	・農業体験の受入に向けた体制整備 ・農業体験希望者の受入 ・担い手の募集 ・マニュアル(就農)の作成 ・半農半「X」の推進 ・地域おこし協力隊の導入(検討)	・山菜の収穫作業体験を促進する ・山菜を活用した所得補償 ・振興作物(ブルーベリー等)を栽培する ・情報を発信する(特産品の販売等)	・農作業の共同化を進める ・ドローンによるカメムシ防除を共同で 実施する ・ラジコン草刈り機による法面除草の共 同作業	・鳥獣被害対策の実施(地区全体を広く網羅する電気柵等の設置) ・農道、水路等のインフラ管理体制の構築(管理の省力化に向けた整備を含む) ・基盤整備の実施 ・農地貸出	「NPOかみえちご山里ファン倶楽部」と「桑谷農業振興会」との共同体
安塚区	安塚区らしさである豊かな自然と雪を活かし、ひと手間とブランド化により、持続可能な農業をめざします!!	・情報発信体制を検討し、新規就農希望者 を募集 ・法人設立の検討 ・移住者、定年帰農者の受入れ	・米の安塚区ブランドの検討 ・自然薯オーナー制度の検討 ・イチジクとクルミシロップの試験的な 取組	・ドローンの活用を推進する ・関係機関に対して、農業機械のリース制 度の充実や農業機械導入の補助率アップ を要望する	・基盤整備の検討(用水路、暗きょ排水を含む) ・農地の集約、集積の実施	安塚区みらい農業づくり会議に参画 した団体を中心に、新たに「(仮称) 安塚区みらい農業づくり推進協議 会」を組織する予定。
浦川原区	浦川原区らしさである伝承技術と農村文 化を活かし、豊かな地域資源の活用と異 業種間の連携により、将来世代につなぐ 持続可能な農業をめざします!!	・U・I ターン希望者等の半農半Xの生活環境づくり・農作業コンテストを通じた区の魅力発信及び農家同士のコミュニティづくり・水路・農道等の新たな管理体制の仕組みづくり	・竹の有効利用・朴葉飯の商品化・米粉を活用した商品化	・スマート農業で若者への魅力発信と生活環境の整備を促進 ・農業機械の共同利用の推進 ・異業種間連携による農業受託事業の促進	・主食用米以外の作物栽培の促進 ・蜂蜜の製造・販売の促進	浦川原区フューチャーデザインワークショップに参画した団体を中心に、新たに「(仮称)浦川原区みらい農業づくり推進協議会」を組織する予定。
大島区	大島区らしさである人や物・自然の豊かさを活かし、楽しい農業や地域のつながりにより、人生の楽園をめざします!!	・地域の受入体制の構築と地域おこし協力隊の導入を検討 ・農業参入する会社を募集する ・残す農地、貸し付ける農地、やめる農地の線引きを行う	・農産物と地域の魅力の情報発信 ・農産物を加工し、高付加価値化による所 得の増収を目指す	・農業機械の共同利用の促進と農作業の 共同化に取り組む ・市を通じて、NOSAIによる防除の継 続を希望する ・ドローンの活用を推進する	・残す農地を明確にする ・農道、水路、ため池の整備を行う ・人・農地プランの理解の浸透を図る	大島区みらい農業づくり会議に参画 した団体を中心に、新たに「(仮称) 大島区みらい農業づくり推進協議 会」を組織する予定。
牧区	牧区らしさである・自然・棚田・人情を活かし、SNSでのPRにより、美味しさを世界へお届けします!!	・女性が参入しやすい環境づくり ・女性・若者農業イベントに対する農業体 験の開催と交流人口の拡大 ・空き家・空き地・農地付き空き家の利用 促進	・こだわり米の生産推進 ・女性が参加しやすい農業イベントの開催 ・SNS 等を活用した情報発信	・農業 3 K のイメージ払拭 ・ドローンの導入促進	・圃場整備、暗渠配水の促進 ・農業用排水、ため池の整備促進	「地域運営協同組合(農業+商工観光)の(新組織設立)」ほか
吉川区	吉川区らしさである人のあたたかさや自 然の多様さを活かし、移住の促進と交流 人口の拡大により、担い手農家の確保・育 成を図ります!!	・移住者(地域おこし協力隊等)の受け入れ ・地域の魅力発信 ・非農家や企業との協力体制の整備	・「吉川ブランド」の確立・山菜の栽培	・地域に合ったスマート農業 ・農業機械の共同利用	・守るべき農地の明確化(集落戦略の見直し) ・条件の悪い農用地の活用 ・農業用施設の整備 ・山林の整備	「みらい農業づくり会議」を発展させた「農業者と関係機関が連携した 新たな組織」
板倉区	板倉区らしさである米とソバの美味しさ を活かし、インターネットにより、板倉の 農業を世界に広げます!!	・平場から山間地へ担い手の協力(支援)体制づくり・既存人材育成生機会の利用促進・移住者受入のPR強化	・棚田米の付加価値PR ・そばの生産・加工・販売の強化 ・インターネット等を活用した米・そばの PR	の導入	・農道・用排水路及び用水乗入道路の整備 ・耕作者のいない農地の共同作業	「板倉区中山間地域農業振興会」、 「生産組合の連合体(新組織立上 げ)」ほか
名立区	名立区らしさである豊富な資源を活かし、地域の連携や発信により、名立を日本中に売り込みます!!	・農業体験の受入に向けた体制整備 ・農業体験希望者の受入 ・担い手の募集 ・農業体験の実施 ・空き家情報の発信 ・農作業の協同化	・梅を新植する・ソバを生産、拡大する(イベントや特産品の開発含む)・情報を発信する	・農作業の協同化を進める ・ドローンによるカメムシ防除を共同で 実施 ・ラジコン草刈機による法面除草の共同 作業	・農地の有効利用促進(農地集積、遊休農地の活用、多面的な利用)及び基盤整備事業の実施・農業インフラを整備(農道・水路の整備)	「名立区農業振興協議会」を中心と する区内農業団体 (集落協定・多面組 織等) の協議体

資料 No. 2 中郷区地域協議会 R5. 6. 27

	実施日	実施内容	参加人数	参加者の声			
第1回	4月16日 (日)	区内各所から「さくらを楽しむ会」の 会場であった泉縄文公園間を送迎。	9名	・運行開始時間の設定が遅かったため、イベント開始時間に間に合わなかった。・足の悪い人にとっては、ありがたいサービス。またお願いしたい。・総合体育館脇での花見を計画したい。			
第2回	5月20日(土)	区内各所から中郷小学校へ行き、運動会に参加、見学。その後、田舎喫茶だんだんどうもで昼食、尾崎地域おこし協力隊員による雪郷ロッジ紹介、岡沢拠点収蔵施設見学。	さくらの会 8名	 ・田舎喫茶だんだんどうもは、うわさ話で聞いていたが、初めて入ってみた。 ゆっくり出来て良かった。 ・雪郷ロッジは、きれいにリフォームされていて、魅力的な施設だと思う。 ・のんびりできて、景色も良いので、岡沢拠点収蔵施設なども見学しながら、 また利用できる機会を設けてほしい。 			
第3回	6月22日(木)	板橋かかし市で買い物、二本木駅及び泉縄文公園見学、区内周遊。	すこやか サロン 木曜参加者 8名	 ・かかし市では野菜がたくさん出ており、新鮮な野菜を購入できた。 ・二本木駅のさとまる~むでコーヒーを飲んだ。戦後初めて駅に来たが、まるで別世界であり、驚いた。滅多に来られないため、来られて良かった。 ・泉縄文公園では、アヤメの花が咲いており、新しく完成した東屋から鑑賞できた。新しい水車も近くまで行ってみた。少し雨が降り足元が悪かったため、今度は、晴れているときに来たい。 ・昔、松ヶ峯のレストランに勤めていた。近くまで来られて良かった。今度は遊園地周辺をゆっくり回りたい。 【乗合タクシーについてのアンケート】 Q乗合タクシーを利用したことがありますかある 5人 ・満足している。 ・新井方面に行く、午後の便があればいいなと思う。ない 3人 ・家族に運転してくれる人がいる。 			